

松本地区震災復興土地区画整理事業

「松本うめ公園」が完成しました



平面図

菖蒲が色とりどりの美しい花を咲かせ、金魚・メダカたちも気持ちよく泳ぎまわっているここ松本地区の

「せせらぎ」は、平成13年9月30日の「お披露目式」から、はや2年目を迎えようとしています。

この「せせらぎ」の水がよどむことなく、美しい景観・流れが保たれているのは、この「せせらぎ」というかわいい「お荷物」を通じて、地域コミュニティが再生・醸成されている証だと思えます。

思えばここ松本地区は、あの大地震で壊滅的な被害を受けましたが、震災後、住民と市との協働で震災復興土地区画整理事業を進めてきた結果、事業進捗も約9割となり、この5月24日には「松本うめ公園」が



完成した松本うめ公園

完成し、またひとつかわいい「お荷物」が誕生しました。

この公園は、住民によるワークショップをもとにま



美しい花を咲かせる
せせらぎの菖蒲

ちづくり協議会が整備計画をまとめ、住民と市との協働のまちづくりによってできました。

この公園には、松本地区が一日も早く復興できるようにと、京都の北野天満宮から大切な紅白の梅をいただき植樹しています。

梅のある築山、あずまや、芝生広場、多目的遊具等を整備し、松本線の「せせらぎ」と合わせて、住民の憩いと安らぎの場となります。

また、震災の教訓を生かし、耐震性防火水槽（貯水量100



自治会と神港みどり幼稚園の園児による「時の除幕式」

t)、炊き出しができるカマド型の丸椅子、仮設トイレ、井戸、防災倉庫等を設置しており、非常時には、一時避難場所として利用することもできます。

当日は、松本地区まちづくり協議会の主催により、手作りの公園びらきが行われました。

神事に始まり、放水訓練、時計の除幕式、公園使用

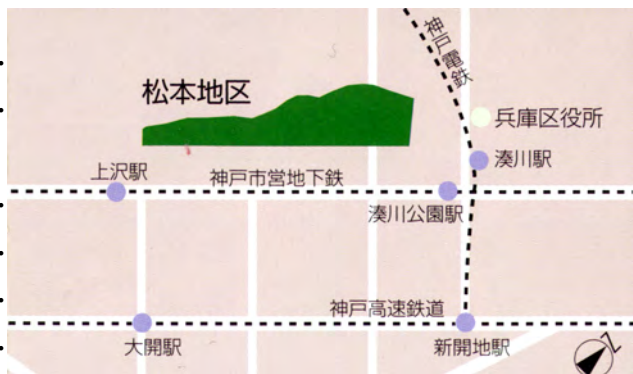


会下山小学校の生徒による三味線コンサート

宣言、三味線コンサート、もちつき等、盛りだくさんの内容で、子供からお年寄りまで地域

住民が一体となった催しでした。

今年度は、残る松本東公園の整備にも着手する予定です。



位置図

神戸市都市計画総局区画整理部中部都市整備課

◆事業の概要

名称	神戸国際港都建設事業松本地区震災復興土地区画整理事業	
施行者	神戸市	
事業着手	平成8年3月26日	
施行区域	兵庫区松本通2丁目～7丁目、大井通1～3丁目	
地区面積	約8.9ha	
総事業費	約249億円	
公共施設	道路	4,233m
	都市計画道路	松本線17m×639m 塚本線18m×175m
公園(2箇所)	区画道路等	3,419m
	松本西公園(愛称:松本うめ公園)	1,000㎡
	松本東公園	2,500㎡

まちづくり会館 10周年企画

都市計画というと、長期的視野に立って機能的な都市活動に必要な施設の整備をするための事業と思われませんが、近年はそれに加えて、市民が安心して暮らせる「やさしさ」と「ぬくもり」のあるまちを市民と「協働」してまちづくりを進めるようになってきました。

こうべまちづくり会館は、こうした「協働のまちづくり」を支援するために平成5年11月15日にオープンしました。

こうべまちづくりセンターは、まちづくり会館を運営し、まちづくりに関する市民の自主的な活動に対して人、物、情報など多面的なサービスの提供を行なうことを目的とし実質的に会館と同時にスタートしました。

このセンターと会館の10年間の歩みを「まちづくりセンターニュース・あーばんとーく」を振り返り記事を年表にしました。

1992年(平成4年)	4月	こうべまちづくりセンター事業研究会報告
1993年(平成5年)	6月	「こうべまちづくり推進員」制度制定
	11月	こうべまちづくり会館 開館 こうべまちづくりセンター 発足 会館記念企画展 須田剋太展
	12月	「こうべまちづくり推進員」委嘱状交付
1994年(平成6年)	3月	「K O B E あーばんとーく」季刊紙として創刊
	7月	こうべまちづくり大学 基礎講座開校
	11月	まちづくりセンター企画展 金山平三展
1995年(平成7年)	1月	阪神淡路大震災 こうべまちづくり会館 避難所として活用
	6月	こうべまちづくり学生倶楽部 開設
	7月	すまい・まちづくり人材センター 開設
1996年(平成8年)	5月	人材派遣による建物再建着工 一の谷グリーンハイツA
	6月	こうべまちづくりセンター 企画展
	7月	神戸まちづくり協議会連絡会 発足
	11月	こうべまちづくりセンター企画展 小磯良平展
1997年(平成9年)	2月	復興まちづくりセミナー 開校 「まちづくりにおける専門家の役割と可能性」
	9月	市民安全まちづくり大学の創設
	11月	「復興まちづくり報告97」開催
1998年(平成10年)	3月	市民安全推進員の誕生
	9月	通巻13号「あーばんとーく」と改め 月刊ニュースとなる



一歩、一歩のまちづくり

三ノ宮南地区は、三宮ターミナルの南東部、中央幹線と税関線・浜手幹線・生田川に囲まれる約54haの区域で、平成12年11月、この地区の魅力と活力あるまちづくりを推進するために、地区内の企業を主な構成員として「三ノ宮南まちづくり協議会」が設立されました。三宮駅をはさんで同じような位置条件にある三宮地区や旧居留地に比べ、様々な面での努力と協力が足りないという認識からの出発です。

生まれてまだ2年半の赤ちゃん組織ですが、これまで、自分達のまちの将来はどうあればよいかについて意見を出し合う一方で、まちの存在と保有する資源を広く内外にアピールすることに力を注ぎました。地区外からみても、また地区内の人々にとっても、まちのアイデンティティが脆弱・不明快で、これがまちの魅力化を阻む最大の要因だという判断です。



そこで、一昨年の「三ノ宮南わくわくサマーフェスタ」に続き、昨年は「三ノ宮南オータムフェスタ／LIVES³（ライブエスキューブ）」と名付けたイベントを1ヶ月間に渡って開催しました。LIVES³とは“Sannomiya Southside Street”の略で、多くの人々がまちの現状をみ、将来を考える契機にしてもらうために、ミュージックライブやフリーマーケット、あるいはグルメスタンプラリーをきっかけにして地区



内外から人々を誘い出し、まちなかを回遊してもらおうという目論みです。準備段階の企画や調整作業、何よりも経費的にも大変でしたが、会員をはじめとする多くの企業のご協賛・ご協力によって実施することができました。会員間の連帯感が生まれ、また来訪者に

も楽しんでいただけたという結果を受けて、今年も開催したいと思っています。

さらに同様の視点から、今後、地区ネーミングの検討や、地下鉄海岸線三宮・花時計前駅コンコース展示コーナーをお借りした地区情報の発信、あるいは地区内のビルや事業所を総合的に案内するマップの発行なども予定しています。地区ネーミングについては、三ノ宮南という名称がどこのことか解りづらいという批判に答え、だれにも地区をイメージしてもらえるような親しみやすい名前を探しています。皆様も知恵をお貸しください。



また当会の昨年度事業の大きな一つに、プランターボックスの配布があります。清掃活動であるクリーン作戦は発会当時から続けていますが、このようなマイナス面を除去する活動に加えて、プラス面を付加するという視点から取り組んだもので、宝くじ助成を受け、43基を設置することができました。緑花の維持管理は地元で続けていますが、今後も予算の許す範囲で増やしていきたいと考えています。

当地区には、事務所だけでなく、近年は小売店や飲食店も増え、またマンションなど住んでいる人も多くおられます。このような多様な機能の複合性・雑居性がこの地区の魅力の一つとなり、最近はタウン誌などにも取り上げていただけるようになってきました。しかし半面、これら機能の違いによって、まちに求めるものに差がでることも事実です。立場の違いをのりこえてお互いを理解しあい、来訪者をも含む全ての人々が共感・合意できる「まちづくり計画」を策定することによって、まちの将来像を皆で共有することが三ノ宮南まちづくり協議会の当面の目標です。そして、その実現方策を模索しているのが当会の現状といえます。

川口信弘（三ノ宮南まちづくり協議会 前会長）

W/Sの楽しみは、子供の時から

by 石川（まちづくりセンター・WS隊）



ワークショップというとなついつい大人がすることのように思っていました。実際には年齢はほとんど関係ないですね。2月に参加したわくわく昔探検隊というWSはまさにその典型だったように思います。対象は小学3年生。学校の周辺にある神社仏閣などを調べて発表しようというものでした。まずは班に分かれてまちを歩きます。お寺の住職にお話を聞いたり、写真を撮ったり。それぞれに思うがままに調べたことを、学校に帰ってカードに書いて、模造紙に分かりやすく貼って行って出来あがり。と、言葉にするとたやすいですがそこは小学生。すぐに興味が他のところに向いてしまいます。

まちあるきをすると寄り道をする。帰ってきてまとめようとするカードを書かない、友達とじゃれあう、挙句の果てにはジャングルジムみたいによじ登ってくるものまで。そんなこんなだったので最初は正直「完成するの?」と少し不安でしたが、最終的に時間内できちんと各班の発表準備が出来あがったし、出来あがりは大変が普段やるワークショップの完成品とも十分張り合えるほどすばらしいものもありました。これは切ったり貼ったりという単純作業を色々組み合わせたワークショップの形式が小学生にも受け入れてもらえるからかもしれません。

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

6月 2日(月)～30日(木)	土砂災害防止パネル展	国土交通省 六甲砂防工事事務所
-----------------	------------	--------------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
6月 5日(木)～10日(火)	第4回燦月会絵画展(油彩)	燦月会
6月12日(木)～17日(火)	第3回兵庫県書作家協会 飛雲会による「現代書へのいざない展」	まちづくり会館 ギャラリー企画展
6月19日(木)～24日(火)	芦屋エンバ美術館陶芸クラブ	鄭 正秀
7月 3日(木)～ 8日(火)	三滴会書道展	三滴会

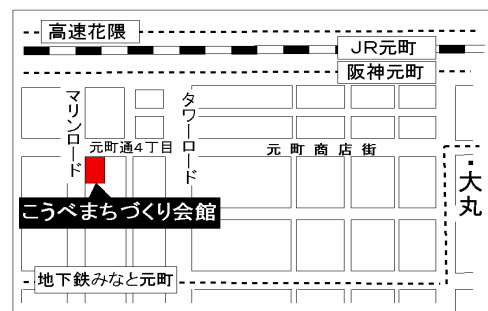
投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様の少しでもお役にたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望によっては、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター(電話361-4523)までご一報ください。



最寄駅
 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
 高速花隈駅東口から3分
 高速西元町駅東口から5分
 JR・阪神元町駅西口から8分